

令和 8 年度 管理職総会 教育長訓示

令和 8 年度がスタートいたしました。

各学校園の管理職の皆様方には、平素より本市の保育・教育に多大なるご尽力をいただき、心より感謝しております。年度の始まりにあたり、教育長としての訓示をいたします。

今年度は、昨年度スタートいたしました「第 3 期大阪狭山市教育振興基本計画」の 2 年目となります。

基本理念である「学びあい、つながりあい、未来に輝く人づくり」、そして、めざす子ども像である「自分らしく、いきいきと学び、さやまを愛する子」の実現に向け、各学校園におかれましては、昨年度も多大なるお力添えをいただきました。改めて感謝申し上げます。今年度は、初年度の取組みをさらに「充実・発展」させる重要な 1 年となります。

さて、本市が推進しております「地域とともにある学校づくり」につきましては、コミュニティ・スクールが全小中学校で展開され、学校・家庭・地域の連携がより一層深まってまいりました。小中学校におかれましては、引き続き「教育課程特例校」としての強みを生かし、地域学習や英語学習を通じた「グローバル人材」の育成を、系統立てて進めていただきますようお願いいたします。

また、幼稚園、こども園、そしてお忙しい中お越しいただいている民間園の皆様におかれましては、就学前教育の重要な担い手として、引き続き地域や校種間の連携を意識した取組みを進めていただくとともに、市内小中学校の取組みについて、ご理解のほどお願いいたします。

また、本日は、大阪府立狭山高等学校の岡本校長にもご参加いただいております。狭山高等学校におかれましては、いよいよこの令和 8 年度より、「普通科」の新たな特色として「地域社会に関する学科」がスタートいたしました。探究的な学びを通して、地域に貢献できる人材を育成する新たな学校づくりが本格的に始動したことを、大変心強く感じ

ております。教育委員会といたしましても、コンソーシアム等を通じて引き続き可能な限りのサポートを行ってまいりますので、狭山高校におかれましては、本市の子どもたちへのさらなる関わりをお願いいたします。

社会の急激な変化に伴い、教育現場に求められる役割も多様化しております。正解が一つではない時代において、子どもたちには、多くの情報やA Iを活用し、多様な他者と協力して新しい価値を生み出す力が求められます。そのためには、情報を見極める力や、さまざまな価値観を受け入れる寛容さも不可欠です。

このような時代だからこそ、教育の核となる「子ども理解」がこれまで以上に重要となります。日々の教育活動を通して、一人ひとりの状況に寄り添った丁寧な支援をお願いいたします。あわせて、1人1台端末を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実にも、引き続き取り組んでいただきますようお願いいたします。

また、これらの教育活動を支えるためには、教職員が心身ともに健康で、いきいきと子どもたちに向き合える環境が必要です。管理職の皆様には、働き方改革の推進を含めた、教職員が力を発揮しやすい職場づくりと適切なマネジメントに、引き続きお力添えをお願い申し上げます。

令和8年度も、管理職の皆さまと教育委員会の関係者が一体となり、本市の保育・教育がますます発展できますよう、ご奮闘をお願いいたしまして、私の年度初めの訓示といたします。

本年度も一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

令和8年4月7日
大阪狭山市教育委員会教育長 竹谷好弘